



チャレンジを通して、自己形成の素地を培う！

部長 松本 安博

先週、私は卒業を間近に控えた6年生と「卒業坐禅」と「卒業記念講演」のために鎌倉にある二階堂学舎へ行ってきました。二階堂学舎までは、鎌倉駅から徒歩でおよそ20分の道のりです。この日の朝はまだ冷たい空気に包まれていましたが、庭先の梅の花や沈丁花の香りに春の訪れを感じました。

「卒業坐禅」は、今年も高僧をお招きして行いました。卒業生のほとんどにとって、坐禅は初めての体験です。坐り方や手の置き方、呼吸の仕方、心のもち方など多岐にわたってお教をいただきました。続いて静寂な和室から全面ガラス張りの前方に自然林が浮かぶホールへと場を移して、「卒業記念講演」の時をもちました。講師は、本学児童学部の大田櫻子先生で、「歌のすばらしさ、歌のもつ力とは」を演題にご講演をいただきました。先生は、人を励まし、温かく繋ぐ歌の力について、6年生に厚く語ってくださいました。

卒業式まで、あとわずかとなりました。行事毎に最高学年として下級生に範を示してくれたクローバー（6年生の愛称）の姿が、日増しに大きく、そして頼もしく思えてきます。一人ひとりにとって大切なチャレンジである中学受験を終え、わずかの練習期間で合唱と合奏を仕上げてきたその姿に、確かな自己形成の素地を見出すことができます。私は、その一人ひとりの成長をとてもうれしく思います。

さて、初等部に「毎月の歌」が流れるようになって、まもなく2年が過ぎようとしています。そして、課外の「特別合唱クラブ」ができて1年が経ようとしています。今年の音楽会より実施した保護者アンケートに、「Nコンに出場か？」との記述がありました。また、「初等部の歌声が変わりましたね。」とのお褒めの言葉を、複数の方よりいただくようになりました。機運は高まり「課外合唱クラブ」の児童の多くがNHK合唱コンクールへの出場を意識しているようです。たくさん

友と道を極め、志を遂げていくためには、不屈の努力を重ね、いくつもの困難を乗り越えていかねばなりません。私は、二人の子どもたちの願いを起点に始まったこの「課外合唱クラブ」のチャレンジを、期待とともに見守っていきたいと思います。

保護者の皆様の中にも合唱について、造詣の深い方がいらっしゃると思います。お気付きのことなどございましたら、ご教示をお願いいたします。また、いつか保護者の皆様で構成される「フリーズアコーラス初等部（仮）」が、誕生する日が来ることを楽しみにしていきたいと思います。

一昨日の土曜日、4年生の冬休みの課題となっていた全国銀行協会主催・朝日小学生新聞社共催の「ECO 壁新聞コンクール」で、朝日小学生新聞社賞と優秀賞に輝いた二人の児童が表彰を受けました。およそ一万もの出品の中からの受賞とのことで、初等部に関係新聞社や地域ケーブルテレビから取材の申込みがきています。スポーツでも県レベルで活躍している児童がいます。また、今年度は英語スピーチコンテストにも、20名を超える児童がチャレンジしました。これからも7つのチャレンジはもとより、バレエやミュージカル、書道などの芸術・文化も含め、初等部内外でのいろいろなチャレンジを通して、児童一人ひとりが将来の自己実現に向けた自己形成の素地を培っていくことを願っています。



【音楽会での「課外合唱クラブ」】